

地域と世界を 知り、未来を あなたらしく表現

する。

Faculty of Art and Regional Design

芸術地域 デザイン学部

芸術地域デザイン学科

- ▶ 芸術表現コース
- ▶ 地域デザインコース

芸術地域デザイン学科 芸術表現コース
齊藤 吏玖 佐賀県 有田工業高等学校出身

〈学部の特色〉

芸術地域デザイン学部では、芸術を通して地域創生に貢献する人材の養成を行います。本学部における芸術とは、作品の制作やモノのデザインのことだけを指すわけではなく、美術館や博物館における専門的な仕事や文化財の保護と展示も芸術の範ちゅうに含まれると考えます。現代では、まちづくりや地域おこしを行う自治体、マスコミ・TV局、企業、販売、観光などの場面や職種で、芸術的な視点が求められます。本学部では、そのような場で必要とされる芸術的な手法や感性を磨けます。つまり人やモノを芸術や芸術的な手法によってつなぎ、地域の活性化や国際化などに貢献できる人材を育成します。また、作家、デザイナー、そして教員を志望する人への教育も熱心に行います。本学部で学べる専門分野は、芸術の表現や理論はもちろんですが、歴史、国際関係、考古学、地理学、都市デザイン、異文化コミュニケーションなど人文科学、社会科学のさまざまな分野にわたっています。

■ 教育目的

芸術地域デザイン学部は、創造性や高い技能を持ち、新しい芸術表現を実現できる人材、また、地域が有する問題や状況に芸術を手段として柔軟に対応し、芸術を社会に紹介したり、芸術で社会を活性化したりできる人材の養成を目的とします。

アドミッション
ポリシーはこちら



■ 在学生インタビュー



佐賀に根差した学びができる事が魅力。
学びに経験を積み重ね、地元に貢献を。

地元で空き家が増え始めたことでまちづくりに関心を持ち、さらに高校時代に有田キャンパスで開かれた記念授業を受講したことで本学部本コースに興味を持ちました。都市デザインに関する授業はとても面白く、都市によって観察する観点も変わり、興味深いものがあります。本学部の学生は学外での活動に積極的で、お互いに「何かしよう!」と高め合っています。私も、自分がしたいことを実現するためのチャレンジ精神が身についたと感じています。卒業後は大阪で就職しますが、一度地元を離れて視野を広げ、多くの経験をした上で地元に戻って貢献したい。それが私の夢です。

芸術地域デザイン学科 地域デザインコース
武市 京子 佐賀県 伊万里高等学校出身

インタビュー動画も
ご覧いただけます



地域を知り、芸術でつなげる 作品や企画を世界に向けて発信

01 多彩な表現が学べるカリキュラム

1年次は芸術表現と地域デザインの分野を超えたクロス型学習に学生全員で取り組みます。芸術に関わることを幅広く学び、芸術的感性を持つマネジメント人材、マネジメントを理解できる表現者を育てます。2年次より専門分野の実習科目を学びの柱にしていきます。3年次には専門分野を深めながら、有田キャンパスプロジェクトや国内外芸術研修などで、地域社会の中でより実践的なことを行い、専門分野を社会の中に生かす力を養います。



02 芸術で世界をひらく ～有田キャンパスから世界へ、世界から有田キャンパスへ～

芸術地域デザイン学部は主にドイツ、オランダ、イタリア、アルメニア、リトアニア、韓国、インドネシア等の教育・研究機関と学術・文化交流を実施し、交換留学制度を設けています。特に有田キャンパスでの交換留学プログラムSPACE-ARITAは、ドイツのブルク・ギービヒェンシュタイン芸術デザイン大学ハレやオランダのアイントホーフェンデザインアカデミーから交換留学生を多く受け入れています。留学生にとって有田は、400年の歴史に裏打ちされた陶磁器生産技術や文化からインスパイアされる刺激と共に、自身が求めているデザインを実現できる場所となっており、帰国後は有田で制作した作品をミラノデザインウィーク、アンビエンテなどに出品し大きな成果を残しています。この交換留学制度は、留学生の学びの場であると同時に、留学生との交流を通して国外への興味関心に繋げる、本学学生にとっても良い機会となっています。



03 地域創生の実践—表現から文化財の保存まで

地域にある資源をどのように活用すれば地域創生につながるのかを、実際にフィールドワークを行って研究していきます。地域の協力を得て、地域資源を生かした企画を展開し、それらの活動を情報発信する手法も学びます。また、存在を世間に伝えて文化財として保存していく活動など、芸術的観点からの地域創生のための活動を行います。

地域創生フィールドワーク

学生がチームを組み、地域の地理や文化・芸術資源を継続的に調査し、フィールドワークの能力を育成します。



興賀神社	武雄市	吉野ヶ里	石橋文化センター	SAGA ART WEEK
三十六歌仙絵馬の復元模写とそのためのリサーチを、神社、地域と連携のうえ進める。	武雄市役所と連携して「文化を起点としたまちづくりデザイン」の企画・運営に取り組む。	吉野ヶ里歴史公園等の文化資源・場所を活かした活動。	同センター(福岡県久留米市)内で現役のアーティストとのプロジェクトに取り組む。	卒業制作展にあわせ佐賀市内の美術館・ギャラリー等の情報を集約して発信。

作品紹介

コンテンツデザイン



ほぐし水の三重点でピボット インスタレーション、サイズ可変
遠藤 梨夏 福岡県 筑紫丘高等学校出身

ミクストメディア



譜を起因とするうごき 譜の作成から実践まで
福永 知花 福岡県 福岡女学院高等学校出身

西洋画



dolls
アクリル絵の具、油絵具、ジェルメディウム、紙粘土、ビニール紙、インク
山口 知咲 佐賀県 佐賀北高等学校出身

映像デザイン



夢裡
シングルチャンネル映像(HD、ステレオ、カラー)、10min
楠田 亜衣乃 佐賀県 佐賀北高等学校出身

有田セラミック



美少女戦士私
磁器、ウレタン、毛糸、木材、錆込み成形、手捻り、繰り込み技法
岩崎 佑香 熊本県 熊本信愛女学院高等学校出身

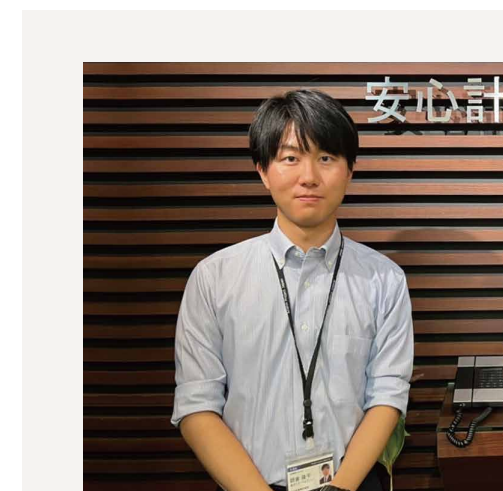
施設紹介



有田エントランスギャラリー(有田キャンパス)
授業成果や学生たちの自由な制作発表の場として活用され、毎年3月には卒業生・修了生の作品を展示し、地域住民も訪れる開放された空間となっています。



メディア収録演習室(本庄キャンパス)
4K撮影スタジオにおいて、合成映像やモーションキャプチャによるバーチャルプロダクションの研究を行っています。



学生時代に培った専門知識や友人との絆。 それがあるから「つくる」ことに直向きになれる。

安心計画株式会社 技術本部 制作技術部 勤務
朝倉 隆平さん 芸術地域デザイン学科 地域デザインコース 2022年3月卒業
[業務内容] 住空間をリアルにシミュレーションするために開発された自社ソフトのカスタマイズ業務

現在は、自社で販売している建築CADソフトのカスタマイズ業務に携わり、ソフトで使用する建築部材の制作、建物の外観パース画像の制作などを行っています。大学時代に学んだソフトウェアの知識やデジタルコンテンツ制作の基礎が今の業務につながっていますが、専門知識以外にも幅広い分野を学んだことが意外と社会生活に役立っていると感じています。大学生活で一番の思い出は、短期留学プログラムで香港の学生らと交流したことです。香港の景観・文化・歴史に圧倒されましたが、それ以上に香港の学生との交流は新鮮でかけがえのない思い出となっています。今も大学時代の仲間とともに作品展を企画し、定期的に制作活動を行っています。卒業しても付き合える仲間と出会えたことを大切に、これからも「つくる」ということに情熱を持ち、日々邁進していきたいと思っています。



詳細情報はこちら

制作から企画・運営まで
取り組んできた経験を活かし
地域と関わり合える仕事に就きたい

本学部は1年生で各専攻の授業を受け、その上で2年生から興味ある専攻に分かれるので、本当にやりたいことに出会えます。私は2年生で漆や木工の基本を学び、3年生から個人制作を行っています。以前から刀の拵えに興味があったので、今は漆と木を使って刀本体と鞘、刀掛けを制作しています。好きな授業は地域創生フィールドワークです。普段は芸術を学ぶ私たちが、自分たちで考えたイベント企画や創作物を通して地域の方と交流していく授業です。また、学生主催の展覧会などにも参加しました。これらの活動は、ただ作品を作るだけでなく、配布するDMやポスター、会場の手配などの企画・運営も行い、私自身の大きな成長につながりました。将来はこの経験を活かし、その地域で何が必要とされているのかを考え、地域住民にとってより良い生活が送れる手助けをしたいと考えています。

芸術地域デザイン学科 芸術表現コース
佐藤 希 山口県 山口中央高等学校出身

美術・工芸分野

「手わざ」を基礎にして、オリジナリティのある表現力を養成します。日本画、西洋画、彫刻、視覚伝達デザイン、漆・木工芸、染色工芸、ミクストメディアから適性に合わせて専門分野を選択し、表現や技術を学びます。描くこと、作ることを通した表現力の養成は、70年以上続く美術・工芸教室の伝統です。

有田セラミック分野

“やきもの”を産業・文化・表現・科学などさまざまな角度からとらえ、伝統的であると同時に革新を伴う時代に強くアピールできるもの作りを探索します。日本における陶磁教育の先駆的役割を果たした有田窯業大学校から移行した国内最高クラスの施設環境の中で、国際的な陶磁教育とセラミック研究により、専門性の高い人材を養成します。

主な進路

〈就職先〉

●美術家 ●レベルファイブ ●オリックス ●ハウス食品 ●ゼネラルアサヒ ●トッパングラフィックコミュニケーションズ ●ブレイン ●旭製作所 ●ノアデザイン ●ダイワ化成 ●福岡銀行 ●香蘭社 ●李荘窯業所 ●中川政七商店 ●福博印刷 ●Cygames ●旭化成リフォーム ●武田メガネ ●不二貿易 ●丹心窯 ●アサヒシューズ株式会社 ●チームシップ ●関家具 ●佐賀銀行 ●佐賀県庁 ●佐賀県教育委員会 ●福岡市教育委員会 ●宇城市教育委員会 ●佐賀県内ならびに九州各県の中学校、高等学校、特別支援学校など

〈進学先〉

●佐賀大学大学院
●University of the Arts London/Camberwell College of Arts

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次	
教養教育科目	大学入門科目					
	共通基礎科目「英語」					
	共通基礎科目「情報リテラシー」					
	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)					
			インターフェース科目			
専門教育科目	学部共通科目	学部共通コア科目 ●地域デザイン基礎 (デザイン、キュレーション、フィールドワーク) ●芸術表現基礎(絵画、彫刻、工芸) ●デザイン発想論 ●職業キャリア論 ●マーケティング論 ●アートマネジメント ●Key Concepts in Art ●デジタル表現基礎 ●文化経済論 ●比較オリエンタリズム研究 ●風土と地理学 ●芸術と観光	●芸術文化・地域創生論 (国内外地域プロジェクト事例研究) ●知的財産権学 ●地域再生デザイン学 ●アートと科学	学部共通コア科目 ●有田キャンパスプロジェクトI-II ●地域創生フィールドワークI-II ●国内外芸術研修		
	基礎科目	●芸術表現A(日本画、西洋画、彫刻) ●芸術表現B(窯芸、染色工芸、漆・木工芸) ●美術史基礎 ●図法	●工芸理論 ●現代美術概論 ●アートマーケティング論 ●デザイン基礎			
	美術・工芸		●日本画Ia・Ib・IIa・IIb ●彫刻Ia・Ib・IIa・IIb ●染色工芸Ia・Ib・IIa・IIb ●漆・木工芸Ia・Ib・IIa・IIb ●日本画概論 ●漆・木工芸概論 ●西洋画基礎 ●製図 ●映像デザインI ●コミュニケーションデザイン論 ●コミュニケーションデザイン演習 ●西洋画Ia・Ib・IIa・IIb ●ミクストメディアIa・Ib・IIa・IIb ●視覚伝達デザインI ●金属工芸Ia・Ib ●彫刻概論 ●窯芸基礎 ●染色工芸基礎 ●コンテンツデザインI ●情報デザインI ●材料学 ●応用木工芸	●日本画IIIa・IIIb・IIIc・IIId ●彫刻IIIa・IIIb ●染色工芸IIIa・IIIb ●漆・木工芸IIIa・IIIb ●西洋画概論 ●彫刻基礎 ●日本画基礎 ●漆・木工芸基礎 ●地域ブランディング論 ●メディアアート論 ●インターンシップ ●西洋画IIIa・IIIb・IIIc・IIId ●ミクストメディアIIIa・IIIb・IIIc・IIId ●視覚伝達デザインII・III ●金属工芸IIa・IIb ●染色工芸概論 ●日本画基礎 ●ミクストメディア基礎 ●地域ブランディング演習 ●メディアアート演習	●卒業研究I-II	
	有田セラミック	●陶磁成形技法I-II ●ロクロ成形I-II ●石膏型成型特別演習 ●陶磁特別演習I ●釉薬化学概論 ●セラミック焼成 ●装飾技法特別演習 ●アートプロデュース演習I	●装飾技法I-II ●石膏型成型I-II ●釉薬化学I ●陶磁史 ●セラミック原料化学 ●衣食住文化論 ●食と器	●陶磁成形技法III ●ロクロ成形III ●陶磁特別演習II ●釉薬化学II ●セラミック科学演習 ●CAD/CAM I-II ●陶磁マーケティング ●装飾技法III	●石膏型成型III ●陶磁技法特別演習 ●セラミック科学実験 ●唐津焼演習 ●インターンシップ ●ロクロ特別演習 ●有田産業体験I-II	●卒業研究I-II

授業紹介

芸術表現A・B



美術や工芸全体の基本を広く学ぶことを目的としています。Aは日本画や西洋画、彫刻について、Bは染色工芸や窯芸、漆・木工芸について学びます。

デザイン発想論



表現全般に関わる幅広い基礎力を育みます。思考法・表現力・創造力を磨き、さまざまなコンテンツの発掘・企画につなげるための基礎を養成します。

陶磁特別演習I・II



有田を代表する十四代今泉今右衛門先生や十五代酒井田柿右衛門先生の作品に対する考え方、伝統についての話を聞き、自身の作品作りを見つめます。

分野紹介

西洋画



富田 俊明 准教授

「西洋画」の歴史的経緯を踏まえ、タブーや制限なしに現代のあらゆる視覚文化を涉猟し、真に現代的な絵画表現を追求します。

視覚伝達デザイン



世利 幸代 准教授

視覚伝達デザインの授業では、まず基礎段階として定規やコンパスを使用した課題制作を行います。自分の手を直接使うことで、構成力やバランス感覚を習得します。

日本画



近藤 恵介 准教授

「日本画」が歴史の経緯において獲得した視点や技術を絵画制作を通して学び、基礎に据え、認識をほぐしながら今日の絵画表現を模索します。

窯芸・装飾成形



甲斐 広文 准教授

単に技術を学ぶだけでなく、なぜそうするのかを自ら考えながら本質を探っていきます。伝統に学びながら、現代の感性で新たな“ものづくり”を目指します。

教員紹介

井川 健 准教授
漆・木工芸

近藤 恵介 准教授
日本画

田中 右紀 教授
窯芸

富田 俊明 准教授
西洋画

三木 悦子 准教授
窯芸・プロダクトデザイン

湯之原 淳 准教授
窯芸・造形

甲斐 広文 准教授
窯芸・装飾成形

世利 幸代 准教授
視覚伝達デザイン

徳安 和博 教授
彫刻

鳥谷 さやか 准教授
染色工芸

柳 健司 教授
ミクストメディア



詳細情報はこちら

学びと出会いを通して
自分自身の成長を感じる日々
将来は、地域に貢献できる仕事に

地域振興や観光業に興味があり、本学部ならば学びを深めながら地元貢献できるのではないかと考えて進学を決めました。現在はフィールドデザイン分野に所属しており、特に地方の在り方や課題について考えています。一方で、コースの違う人たちと交流することでキュレーション分野にも興味を持つようになり、学芸員資格取得にも挑戦しています。いろいろなことを学び、いろんな感性や考え方の人と交流することで視野が広がり、新しいことに挑戦することを楽しいと感じるようになりました。この変化は、本学部で学んだからこそこの成長であり、私の強みでもあると思っています。卒業後も学習意欲や挑戦する姿勢を大切に、ここで得た知識や経験を活かして人々の豊かな生活や、より良い社会づくりに携わる仕事に就きたいです。

芸術地域デザイン学科 地域デザインコース
陣内 彩乃 佐賀県 佐賀西高等学校出身

地域コンテンツデザイン分野

デジタルメディアやテクノロジーを効果的に生かして、地域資源をコンテンツ化し芸術やデザインとして提案ができる人材を育成します。デザインの理念や技能と共に、発想力・表現力・企画力・行動力などを伴ってローカル・グローバルを問わず社会に貢献できる力を身に付けます。

キュレーション分野

芸術のみならず、経営、保存科学、歴史学などの知識やスキルを駆使して、地域の遺産や資料を保護・管理したり、それらを活用した企画・運営に携わる人材を養成します。学芸員やキュレーター、ギャラリストなどの養成も目指します。

フィールドデザイン分野

まちづくりなどの地域創生のために国内外で活躍する人材を養成します。地理学、都市デザイン、文化財保護、経営などの知識を生かし、自治体や企業、マスコミなどで活躍する人材の養成にも力を入れます。

主な進路

〈就職先〉

●株式会社ユニクロ ●株式会社良品計画(無印良品) ●株式会社オカムラ ●株式会社岩田屋三越 ●株式会社電通九州 ●総合警備保障株式会社 ●株式会社レベルファイブ ●株式会社Cygames サイゲームス ●日本郵便株式会社 ●株式会社再春館製薬所 ●株式会社スチームシップ ●JR九州エージェンシー株式会社 ●東映株式会社 ●関家具 ●大創産業 ●旭化成ホームズ ●日本赤十字社 ●パルコ ●九州電力 ●モロゾフ ●カメラのキタムラ ●防衛省九州防衛局 ●九州管区行政評価局 ●佐賀県庁 ●朝倉市役所 ●大野城市役所 ●那珂川市役所 ●小城市役所 ●柳川市役所 ●神埼市役所 ●美術家など

〈進学先〉

●東京藝術大学大学院 ●慶應義塾大学大学院 ●佐賀大学大学院

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」			
		共通基礎科目「情報リテラシー」			
		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
		インターフェース科目			
専門教育科目	学部共通科目	学部共通コア科目 ●地域デザイン基礎(デザイン、キュレーション、フィールドワーク) ●芸術表現基礎(絵画、彫刻、工芸) ●デザイン発想論 ●デジタル表現基礎 ●風土と地理学 ●職業キャリア論 ●マーケティング論 ●文化経済論 ●アートマネジメント ●比較オリエンタリズム研究 ●Key Concepts in Art ●芸術と観光		学部共通コア科目 ●有田キャンパスプロジェクトI-II ●地域創生フィールドワークI-II ●国内外芸術研修	
	コース基礎科目	●博物館概論 ●ランドスケープ ●美術史基礎 ●観光学概論		●地域マネジメント論	
	地域デザイン	●デザインプロジェクト演習 ●地域ブランディング演習 ●コミュニケーションデザイン論 ●メディアアート論 ●コミュニケーションデザイン演習 ●メディアアート演習 ●地域ブランディング論		●コンテンツデザインII-III ●情報デザインII-III ●映像デザインII-III ●インターンシップ ●メディアプレゼンテーション ●デザイン実践セミナー	
	キュレーション	●キュレイティング基礎 ●博物館展示論 ●博物館資料論 ●博物館学内実習I-II ●博物館資料保存論(芸術と倫理を含む) ●博物館情報・メディア論 ●博物館教育論 ●美術史I-II ●美術史演習 ●工芸理論 ●アートプロデュース論 ●キュレイティング応用I ●現代美術概論 ●アートプロデュース演習I-II ●アートマーケティング論 ●博物館経営論		●博物館学外実習 ●アートマネジメント特別講義 ●キュレイティング応用II ●ヘリテージサイエンス ●インターンシップ ●美術史III	
	フィールドデザイン	●考古学I		●考古学IV ●地域史論III ●古文書解読演習 ●都市空間論II ●フィールドデザイン演習II ●博物館の政治学 ●エリクスタディー演習II ●考古学実習II(野外) ●地域史演習	

授業紹介

映像デザイン



映像言語と時間や空間をデザインする新たな映像表現まで学びます。スキル修得だけでなく、映像による自己の表現方法を模索した作品づくりを目指します。

Art in Context



アートと社会の関係を国内外の歴史的遺構や遺物を見たり、アートプロジェクトの実例を実地で体験することで学び、地域創生に対する意識を高めます。

博物館実習



美術品の保存修復や文化財の保護についての理念、法制度のほか、佐賀大学美術館で展示などを学び、キュレーターとしての基礎力を身に付けます。

研究室・ゼミ紹介

博物館資料保存



石井 美恵 准教授
美術品の価値や保存について実資料を用いて学びます。

地域マーケティング

山口 タ妃子 教授
地域活性化をマーケティングにおける「地域ブランド」という視点から考察。特にゼミでは地域に実際に出てフィールドワークの中から地域課題を発見し、解決策を模索していきます。

都市デザイン

有馬 隆文 教授
人間が快適かつ安全に暮らせる環境を提案するため、都市の成り立ちを理解し人々の活動を読み取り、次世代に継承される都市のデザインを追求していきます。

アートプロデュース



花田 伸一 准教授
現役のアーティスト・学芸員等と接しながら美術展やアートプロジェクトの企画・運営について実践的に学びます。

教員紹介

阿部 浩之 准教授

情報デザイン

有馬 隆文 教授

都市デザイン

石井 美恵 准教授

博物館資料保存

栗林 賢 准教授

地理学

重藤 輝行 教授

考古学

土屋 貴哉 教授

コンテンツデザイン

中村 隆敏 教授

映像デザイン

花田 伸一 准教授

アートプロデュース

藤井 康隆 准教授

博物館学

山口 タ妃子 教授

マーケティング

山崎 功 教授

アジア研究・国際関係

吉住 磨子 教授

美術史

HOUGHTON STEPHANIE ANN 教授

異文化間コミュニケーション